



ろうそく 蝉燭能

～みちのく鬼女伝説～

仕舞「山姥」……観世喜之
狂言「附子」……野村萬斎
能「安達原」……小島英明



観世琉シテ方
小島英明



和泉流狂言方
野村萬斎



観世琉シテ方
観世喜之

平成29年 2月4日 土曜日 まゆりあん 8F 大ホール
(JR大井町駅前)

時間 13:30開場/14:00開演 料金 4,500円 (全席指定)

平成28年11月11日 金曜日 チケット発売開始!

蠟燭能 (みちのく鬼女伝説)

番組

見どころ解説

小島 英明

《仕舞》

山姥 (やまんば)

観世 喜之

地謡

中森健之介
佐久間二郎
鈴木 啓吾
坂 真太郎

《狂言》

附子 (ぶす)

シテ(太郎冠者)

野村 萬斎

アド(主)
小アド(次郎冠者)

中村 修一
飯田 豪

後見 月崎 晴夫

《蠟燭能》

シテ(里女/鬼女) 小島 英明

安達原 (あだちがはら)

黒頭

ワキ(山伏祐慶)

野口 能弘

大鼓 大倉慶乃助
小鼓 島山 直也

太鼓 梶谷 英樹
篠 藤田 貴寛

アイ(能力) 内藤 連

後見 遠藤 喜久
観世 喜之
地謡 坂 真太郎
佐久間二郎
永島 充
鈴木 啓吾
中森 貫太
奥川 恒治

休憩二十分

あらすじ

狂言「附子」

主人(アド)が太郎冠者(シテ)と次郎冠者(小アド)に留守番を言いつけ、桶の中の物は「附子」といつて、その方から吹く風にあたるだけで死んでしまうほどの猛毒なので、決して近づかないようにと言いつて残し出かける。しかし、どうしても附子が気になって仕方がない二人は、こわごわ様子を探ると、中身の正体は実は黒砂糖であった。二人は夢中になつて全部食べてしまう。言い訳の方法を考えた二人は…。

能「安達原」

諸国廻りの山伏・祐慶(ワキ)は、陸奥の安達原にて辺りの人家に一夜の宿を頼む。その家の主の女(前シテ)は旅の慰みに、杵杵輪という糸を繰る道具を使いながら糸を繰つてみせる。やがて女は、暖をとるため山に薪を採りに行くが、山伏達に、留守中自分の寢室を決して覗かないようにと念を押すのであった。(中入)
山伏は寢室を覗くつもりなどなかったが、同行の能力(アイ)は、好奇心からつい内を覗き、人の死骸が山と積まれている恐ろしい室内に驚嘆した。能力の報告を受け山伏は、さてはここが鬼が住むという黒塚であつたかと急いで逃げる。山より戻つた主の女は、逃げる山伏達を見つて、鬼女(後シテ)の本性を現して追いかける。鬼女は、約束を破られたことを恨み襲いかかるが、山伏達は懸命に祈りついに退散する。

平成29年2月4日(土) きゅりあん 8F大ホール

時間 13:30開場 / 14:00開演 料金 4,500円(全席指定)

11/11 金 チケット発売開始!!

※電話予約では座席をお選びいただけません。
※未就学のお子様のお入場はご遠慮ください。
※託児はありません。

販売窓口

9:00～ きゅりあん(JR大井町駅前) / スクエア荏原(東急目黒線武蔵小山駅徒歩10分)
メイプルカルチャーセンター(JR西大井駅前)

10:00～ O美術館(JR大崎駅前) ※発売初日は9:00～ / しながわ観光協会(大井一丁目共同ビル1F)

電話予約

9:00～ チケットセンターCURIA(キュリア) ☎03-5479-4140 ※発売初日は10:00～

インターネット予約

24時間受付 (公財)品川文化振興事業団ホームページ

☞ <http://www.shinagawa-culture.or.jp> ※発売初日は9:00～

e+(イープラス) ☞ eplus.jp/ ※発売初日は10:00～

